

株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ様

こんにちは。お久しぶりです、今川大輔です。

ノルウェーに来てから留学過程の半分ほどが経過しました。留学後、約2カ月が経過した頃に、ファミリーに急な出張の予定が重なって生じることになったため、ファミリーチェンジがありました。現在は、ノルウェー北部のフィンマーク（Finmark）県にあるラクスウェルブ（Lakselv）という、人口3,000人ほどの小さな町に住んでいます。

ファミリーは自分を含めて5人（シスター、ブラザー、両親）です。シスターとブラザーは大学生で、普段は家にはいなくて長期休暇の頃に帰ってきます。実際、異なる文化でのファミリーとの共同生活は、普通の語学留学や短期留学では体験できない貴重な経験ばかりです。

こちらでのコミュニケーションは、当然ノルウェー語ですが、ここ最近、ようやく英語に頼ることなくノルウェー語での会話に慣れてきたところです。クリスマス休暇のパーティーや学校の友人とはそれなりに会話ができるようになり、ノルウェー語の知識ゼロからのスタートでここまで話せるようになったことに、我ながら感動を覚えています。今では、授業や日本のことについてノルウェー語で紹介することもできるほどになりました。

留学先の高校では、とくに部活といった活動はないので、私は地域のスポーツクラブのテコンドー、ジム、柔道のクラブに参加しています。ノルウェーにテコンドーや柔道のクラブがあることに驚きましたが、意外と東洋の格闘技は人気があるようです。私自身、テコンドーは初心者で、柔道も少々かじっている程度なのですが、日本人だから「教えてくれよ!」とクラブメンバーに言い寄られたときは結構困りました。柔道クラブは、ラクスウェルブから車で1時間ほどのところにあるカラショク（Kalasjok）という場所にあり、ファミリーチェンジのときにお世話になった AFS のスタッフの方の紹介で参加し、それからずっと続けています。コーチがラクスウェルブに住んでいるので、クラブに参加するときは一緒に車に乗せてもらっています。コーチとは年齢も近く、先日も簡単なパーティーに誘われました。パーティーといえば、クリスマス休暇にはかなり頻繁にパーティーが開かれ、パーティーを通じて新たな友人をつくることもできるなど、かつてないほど充実したクリスマスを過ごしました。

留学してからずっと、とても充実した日々を送っています。しかしこれは、留学だから充実している、ということだけでなく、自分自身の“気持ちの持ちよう”の大切さを実感しています。というのも、自分に「楽しもう」という意思がなければ、毎日がただ過ぎていくだけのつまらないものになってしまう。しかし、自分が楽しもうと思えば、今の自分

のように充実感を得られる生活になると思えるからです。

ノルウェーに来て、留学生活を送って、さまざまな経験を経て、自分の人生がだんだんと変わっていく実感があります。留学生活も折り返しとなりましたが、帰国までのあと5カ月、悔いの残らないよう、そしてさらに充実した5カ月になるよう、1日1日を楽しんで過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、ノルウェーへの留学の機会を、そしてすばらしい経験の場を与えてくださり誠にありがとうございます。

2011年2月

今川 大輔

(留学先のノルウェーより)